

大至急回覧

=緊急FAX署名=

「特別昇給削減」反対署名への協力を、
すべての教職員 みなさんに呼びかけます。

宮城県教育委員会

教育長 高橋 仁 殿

査定・差別昇給をいっそう拡大する 「特別昇給の削減提示」に反対する署名

9月25日、宮城県教育委員会は、組合との話し合いの中で運用されてきた特別昇給の見直し（削減）を提示してきました。その内容は、以下の通りです。

- ① 永年勤続表彰受賞者に係る特昇を8号俸から6号俸とする。
- ② 教員に係る通過号俸特昇1回分を廃止する。また、教員以外の事務職員等に係る昇格特昇（これに相当する特昇を含む。）1回分を廃止する。
- ③ へき地特昇及び分校特昇、夜間定時制特昇、特別支援学校特昇（特支学級を通算する）を廃止する。

※いずれも、平成30年1月1日実施の昇給から運用するという提示。

特別昇給は、生涯賃金に大きく影響します。教員部分の通過特昇の削減では、永年勤続特昇の削減も合わせると、130万円の減額になります。また、長年の働きぶりに対する恩恵の意味合いに近い昇給として、永年勤続特昇を多くの先輩方が享受してきたことを考えると、今回の提示は、納得できません。

今年4月に「公立学校人事評価制度」が導入され、管理職による評価が勤務成績や昇給に反映されました。私たち教職員組合は、客観性・公平性・透明性が確保されない限り、この制度は認められないとして交渉を重ねてきましたが、納得できる説明もなく、この制度は強行されたところです。今回の削減提示は、管理職の評価（相対評価）により昇給が決まる「査定昇給」を一層拡大させるものとしても許すことはできません。

以上のことから、私たちは運用特昇の見直し提示に反対します。

【要求事項】

「特別昇給の削減提示」の撤回を求めます。

氏 名	氏 名	氏 名

宮城県教職員組合 宮城県高等学校・障害児学校教職員組合

（ ）支部（ ）分会

宮教組ファクス番号022-274-2130